

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	昆虫のゾンビ化から紐解く生物の多様な振る舞いの源泉
研究代表者	大須賀 公一 (大阪大学・工学研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、昆虫を使った“新奇性”のあるものである。ゾンビ化した生物から学んで、制御原理をシンプルにするための新たなアプローチで、学術的な新規性・独創性は申し分ない。既に、生物のゾンビ化については先行研究がなされており、特に、このように歩行の原理等をシステム論的に構築する方法は世界的に見ても類がない。</p> <p>新規のモデル構築、制御理論等が構築できるかが懸念されたが、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>